

In the future with foaming
三昌フォームテック

RC建築嵩上げ用ビーズ法ポリスチレンフォーム

YSKスチロブロック・プラットユカフォーム



軽量性・耐圧縮 緩衝性・耐水性と高上げに最適性能!

三昌フォームテックのRC建築向け高上げシリーズ製品は建築用に製造されたEPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム)を使用しております。

弊社の建材用EPSは難燃剤が添加された原料を使用、JIS規格の燃焼試験(自己消火性)にも適合した高品質のEPSです。店舗の高上げや住宅の断熱材、建築外構など様々な分野で使用されています。



ビーズ法ポリスチレンフォームの特徴

▶ 軽量・施工性

製品の単位体積重量は12~20kg/m³であり、コンクリートの1/100程度です。

EPS高上げ製品は躯体床荷重の軽量化に大きく貢献します。また、非常に軽量であることから大型建設機械や仮設工を必要としない為、現場での作業性が良く施工が容易に行えます。

▶ 圧縮強さ

EPSの許容圧縮応力は発泡密度に比例します。ブロックは80~50倍品であり、許容圧縮応力では20~50kN/m²(10%歪みでは40~100kN/m²)と高上げ材として必要な強度を有しております。

▶ 加工性

EPSの加工は電熱線によるカット断裁となります。ブロック製品では最大厚み500mm原反からの切り出しにより曲面・勾配などの形状も現場合わせにて簡単に加工が出来ます。

▶ 自立性

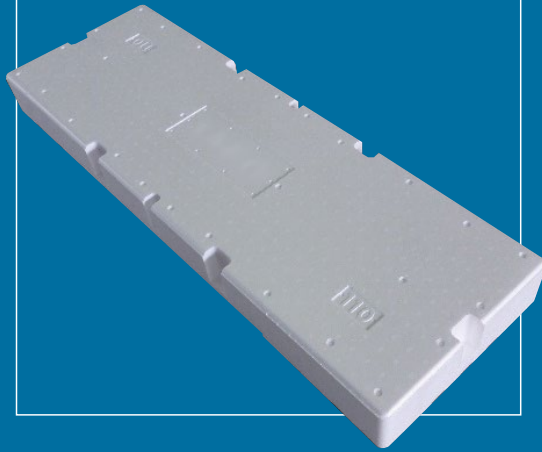
EPSは上部荷重の増加による側方変形が小さく自立性に優れています。

▶ 吸水性

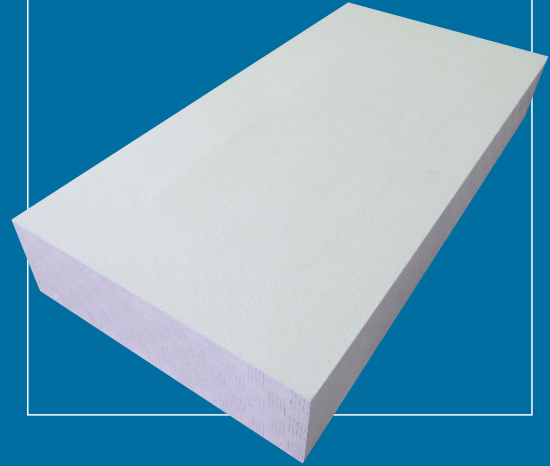
EPSは独立気泡で構成されており吸水率は極めてわずか、湿潤密度の変化が無く均一な品質が確保されます。

製品

プラットユカフォーム



YSKスチロブロック



製品規格・物性

規格

種類	厚さ(mm)	製品寸法(mm)	
		幅	長さ
BF	10~500	920	1830
MF		1000	2000
プラットユカフォーム	70~170(10mm刻み)	400	1200

※製品寸法は金型成形時の仕上げ時の管理寸法であり、実製品寸法とは若干異なります。
 ※ジャストカット納入については弊社担当者へご相談ください(加工費 別途 要)。
 ※MF品番(1000×2000)・プラットユカフォームは受注生産品となります。

製品物性

YSKスチロブロック

項目	単位	製品品番						試験方法
		BF-1	BF-2	BF-4	MF-1	MF-2	MF-4	
発泡密度	kg/m ³	12.0	16.0	20.0	12.0	16.0	20.0	外形寸法と重量にて算出
許容圧縮応力	kN/m ²	20	35	50	20	35	50	EPS工法品質規格に準ずる
燃焼試験	—	適合						3秒以内に炎が消えて残じんがなく 燃焼限界指示線を超えて燃焼しない。

※製品物性は測定値であり、保証値ではありません。
 ※MF品番(1000×2000)は受注生産品となります。

プラットユカフォーム

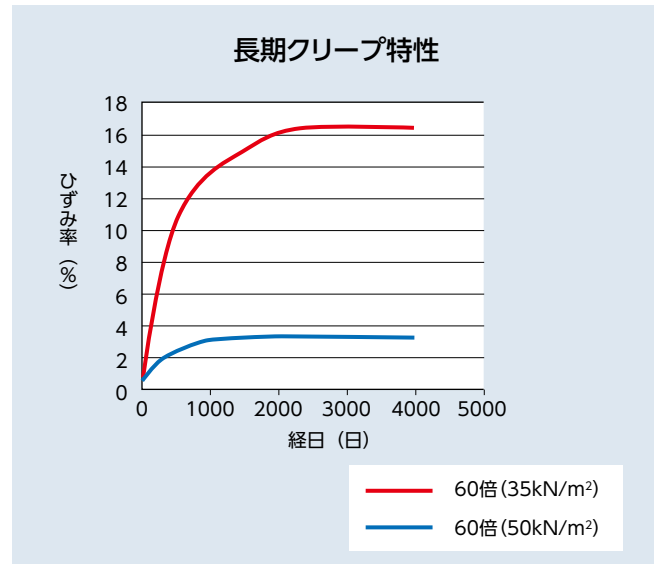
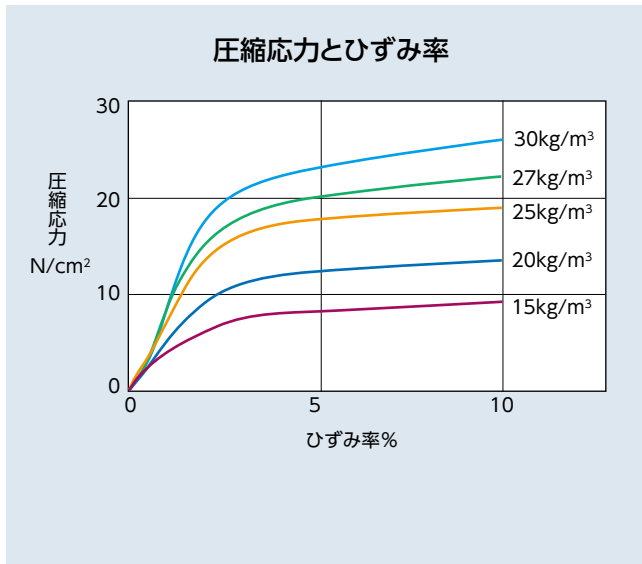
項目	単位	—	試験方法
発泡密度	kg/m ³	15kg/m ³ 以上	体積と重量にて算出
許容圧縮応力	kN/m ²	17	圧縮強度試験による代表値
燃焼試験	—	適合	3秒以内に炎が消えて残じんがなく 燃焼限界指示線を超えて燃焼しない。

※製品物性は測定値であり、保証値ではありません。
 ※プラットユカフォームは受注生産品となります。

許容圧縮強度とクリープ特性

EPSの圧縮強さはJIS規格における10%圧縮ひずみ時の圧縮応力で規定されています。

しかし、この圧縮ひずみでは塑性変形が生じ始めており、繰り返し载荷では変形が残留する為、長期クリープ特性の観点から 嵩上げ・打ち込み用途では10%圧縮応力の1/2程度としています。



⚠ EPS製品 取り扱い上の注意点

■火気厳禁(溶接厳重注意)

- 火気に接触すると燃えます。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断を行う際は、溶接火花が当たらないように必ず養生してください。当製品の酸素指数は26以上です。

■高温注意

- 高温(80℃)で軟化変形しますので、高温での保管、使用は避けてください。

■有機溶剤・石油類に注意

- 本製品は有機溶剤・石油類・化学薬剤には侵されます。施工に使用する接着剤は、メーカーのカタログと施工仕様書に明記されたものを用いるか、事前にメーカーへお問い合わせください。

■直射日光に注意

- 本製品は多くのプラスチック製品と同様に紫外線により劣化します。屋外で長時間(2~3日以上)保管する場合は直射日光を避けるように養生シートで覆うなどの処置を行ってください。

■その他

- 残材を廃棄する場合は地域の条例や指針に従い処理してください。
- 屋内での電熱線(ニクロム等)によるカットは換気を十分に行ってください。

JSP 株式会社 JSPグループ

三昌フォームテック株式会社

<https://www.sanshofoamtech.com/>

本社 東京都港区浜松町2-1-17 TEL.03-5405-6730
大阪出張所 大阪府大阪市中央区本町1-6-16 TEL.06-7175-1411
筑波工場 茨城県稲敷郡阿見町中央8-3-3 TEL.029-887-6715